別記様式第３号(第１０条関係)

|  |  |
| --- | --- |
| 新規 | 継続 |

レベル３微生物等使用・保管申請書

微生物等安全管理委員会委員長　殿

申請日　　　　　　年　　　月　　　日

取扱責任者

(所属・職)

(氏　　名)

下記のレベル３微生物等の使用・保管について申請します。

１　研究課題名

２　微生物等の名称及び特性

*＊病原性や、発がん性、毒素産生性がある場合は、その説明も記載すること。*

*＊環境生存能力、感染性、感染伝搬経路ならびに実験室内での感染伝搬防止方法について記載すること。*

３　使用・保管の目的

４　使用方法

(1)　微生物等を使用・保管する実験室（建物名・階数・部屋番号を明記すること）

＊実験室の見取り図を別紙添付のこと

(2)　微生物等を使用する実験の概要

*＊実験手順ごとに、実験操作（動作）ならびに使用する実験機器や器具を具体的に記載すること。*

*＊記載内容から、実験室の安全性に関わる手順（例えば不活化されていない病原体を安全キャビネット外で取り扱うか可能性があるか、など）が理解できるようにすること。特に安全キャビネット、遠心機、細胞培養用CO2インキュベーター、排水シンク、オートクレーブ、パスボックス、解析装置など、試料類や廃棄物等が交差する箇所/操作について、BSL3に相応しいバイオハザード対策を踏まえた手順書（プロトコール）となっていること。*

*＊関連する文献がある場合には、様式中に「参考文献」と記載し、文献の写しを添付すること。*

(3)　微生物等の保管方法

*＊容器、保管庫、管理方法（施錠など）について記載すること。*

(4)　実験中及び終了後に用いる滅菌消毒法

*＊オートクレーブ滅菌、消毒薬、消毒方法などについて、実験内容を反映した具体的な内容を記載すること。*

*＊溢流時（こぼした場合）の対応についても記載すること。*

*＊関連する文献がある場合には、様式中に「参考文献」と記載し、文献の写しを添付すること。*

(5)　実験実施期間　(自)　　　　年　　月　　日／　(至)　　　　年　　月　　日

　　　(期間は３年以内とする)

５　他実験計画等の申請状況

(1)　特定病原体等保管・取扱申請

　　□承認済み（承認番号：　　　　　　　　　　）　　　□申請中　　　□該当なし

(2)　動物実験計画申請

　　□承認済み（承認番号：　　　　　　　　　　）　　　□申請中　　　□該当なし

(3)　遺伝子組換え実験計画申請

　　□承認済み（承認番号：　　　　　　　　　　）　　　□申請中　　　□該当なし

６　実験者について

(所属・職)　　　　　　　　　　　(氏　　名)

バイオセーフティレベル３実験室使用経験の有無：　　有　・　無

実験者に関する実験責任者の所見（病原体・実験室使用等に関する知識・取扱い習熟度等）：

*＊当該実験に従事するすべての者を記載すること*

*＊BSL2およびBSL3利用経験年数を含める。取り扱い病原体名、従事した実験内容(簡潔で可)を含めて記載すること。*

*＊実験研究責任者が実験をする場合、実験者として記載すること。*

*＊実験者が複数名いる場合、各実験者について適宜追加記載すること。*

（委員会処理欄）

|  |  |
| --- | --- |
| 承認日： 年　　　月　　　日 | 承認番号：第　　　　　　　　　　号 |
|  | |